

大型CNGバスの原動機のリコールについて

平成 19年10月30日

リコール届出番号1959

平成19年10月30日、日産ディーゼル工業株式会社は下記のリコールを国土交通大臣に届け出しました。

対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございません。

ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

- 大型路線バスの水平置きCNG原動機搭載車において、原動機固定用ブラケットの形状が不適切なため、原動機固定用ラバーが劣化すると、原動機固定用ブラケットとエキゾーストマニホールドが干渉するものがあります。そのため、そのまま使用を続けると、当該マニホールドの取付けボルトが外れ、当該ボルト穴より原動機オイルがマニホールドに滴下し、最悪の場合、発火に至るおそれがあります。

2. 改善の内容

- 全車両、原動機固定用ブラケットを対策品に交換すると共に、原動機固定用ラバーを新品に交換します。又、エキゾーストマニホールド及び取付けボルトを点検し、異常のあるものは新品に交換します。

【改善箇所説明図】

3. 対象車両

- 日産ディーゼル工業株式会社が製作している大型CNGバスが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

型式	対象車の含まれる車台番号の範囲 及び製作期間	対象台数
NE-UA4E0HAN	UA4E0HAN-00022～UA4E0HAN-10022 平成 8年12月17日～平成12年 1月20日	60
NE-UA4E0LAN	UA4E0LAN-00042 平成 9年 5月23日	1
計2型式	製作期間の全体の範囲 平成8年12月17日～平成12年1月20日	合計61台

<ご注意>

- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラックス販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。